

# 平成26年3月期決算と地域経済活性化に向けた取組み

平成26年5月

## 西京銀行

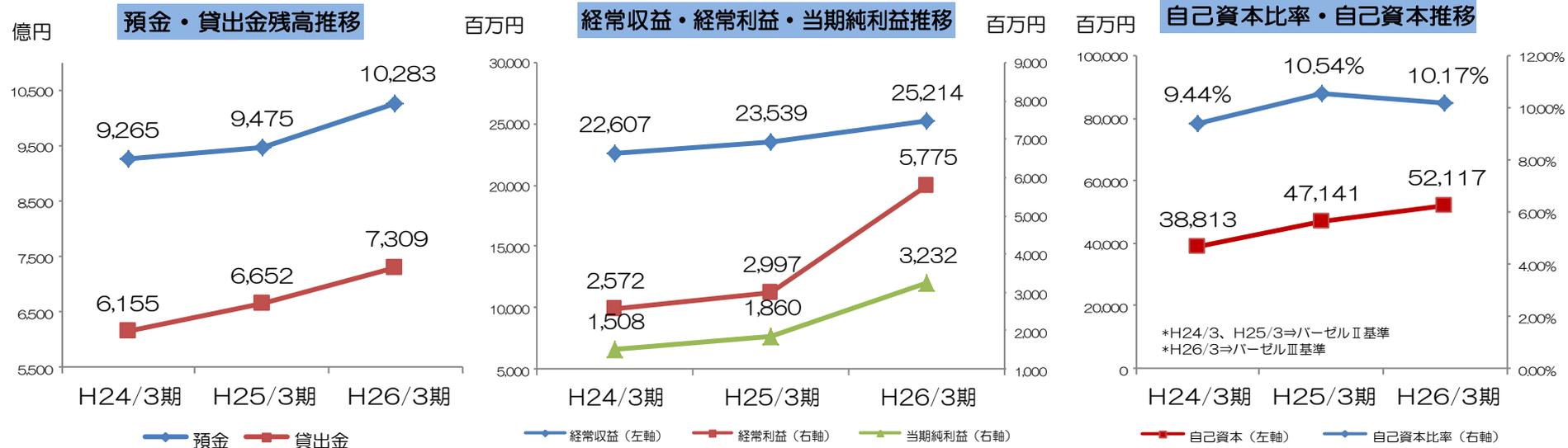
●業績ハイライト（単体）	……	2
●損益の状況	……	3
●預金・貸出金の状況	……	4
●資金の地域内循環	……	5
●有価証券運用の状況	……	6
●不良債権の状況	……	7
●自己資本比率の状況	……	8
●地域経済活性化に向けた取組み	……	9~11

# 業績ハイライト（単体）

わが国の経済は、株高や円安を背景に景気回復への期待が高まっている中、政府の経済政策や消費税率引き上げ前の駆け込み需要などにより一定の成長が見られ、デフレ脱却に向けた動きが本格化しています。

こうした中、当行では、中期経営計画～一人でも多くのお客さまに「さすが西京」のサービスを（計画期間：平成24年4月～平成27年3月）～に基づき、各施策に積極的に取り組んだ結果、最大の目標であった預金量1兆円を一年前倒しで実現し、**4期連続の増収増益決算**とすることができました。

- 預金残高は、山口県・広島県・福岡県の地元を中心に前期比808億円増加し、1兆283億円（増加率8.5%）となりました。貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出を中心に前期比657億円増加し、7,309億円（増加率9.8%）となりました。
- 経常収益は前期比16億74百万円増加し、252億14百万円に、経常利益は前期比27億77百万円増加し、57億75百万円となりました。また、当期純利益は前期比13億71百万円増加し、32億32百万円となり、過去最高益を更新しました。
- 自己資本比率（単体）は、貸出金残高増加に伴うリスクアセット増加により、前期比0.37ポイント減少して10.17%となりましたが、自己資本額は49億76百万円増加し、521億17百万円となりました。



# 損益の状況



(単位：億円)

	26年3月期	25年3月期	前期比 増減額
	経常収益	252	235
業務粗利益	168	156	12
資金利益	163	162	1
役務取引等利益	△ 7	△ 7	0
その他業務利益	12	1	11
(うち国債等債券関係損益)	(16)	(3)	(13)
経費 (△)	106	105	1
実質業務純益	62	51	11
コア業務純益	46	47	△ 1
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△ 0	△ 2	2
業務純益	63	53	10
臨時損益	△ 5	△ 23	18
うち不良債権処理額 (△)	11	9	2
うち株式等関係損益	6	△ 11	17
経常利益	57	29	28
特別損益	△ 3	△ 0	△ 3
税引前当期純利益	54	29	25
法人税等合計 (△)	21	10	11
当期純利益	32	18	14

## 経常収益 前期比17億円増収 (6期連続)

- 経常収益は、貸出金利息等の資金収益の増加 (+2億円)、国債等債券売却益の増加 (+9億円)、株式等売却益の増加 (+4億円) を主因に、前期比17億円増加し、252億円となりました。

## 業務粗利益 前期比12億円増益 (6期連続)

- 業務粗利益は、資金利益の増加 (+1億円) と国債等債券関係損益の増加 (+13億円) により、前期比12億円増加し、168億円となりました。

## コア業務純益 前期比1億円減益

- コア業務純益は、資金利益は増加したものの、国債等債券関係損益を除くその他業務利益が減少 (△1億円) したこと等により、前期比1億円減少し、46億円となりました。

## 経常利益 前期比28億円増益 (4期連続)

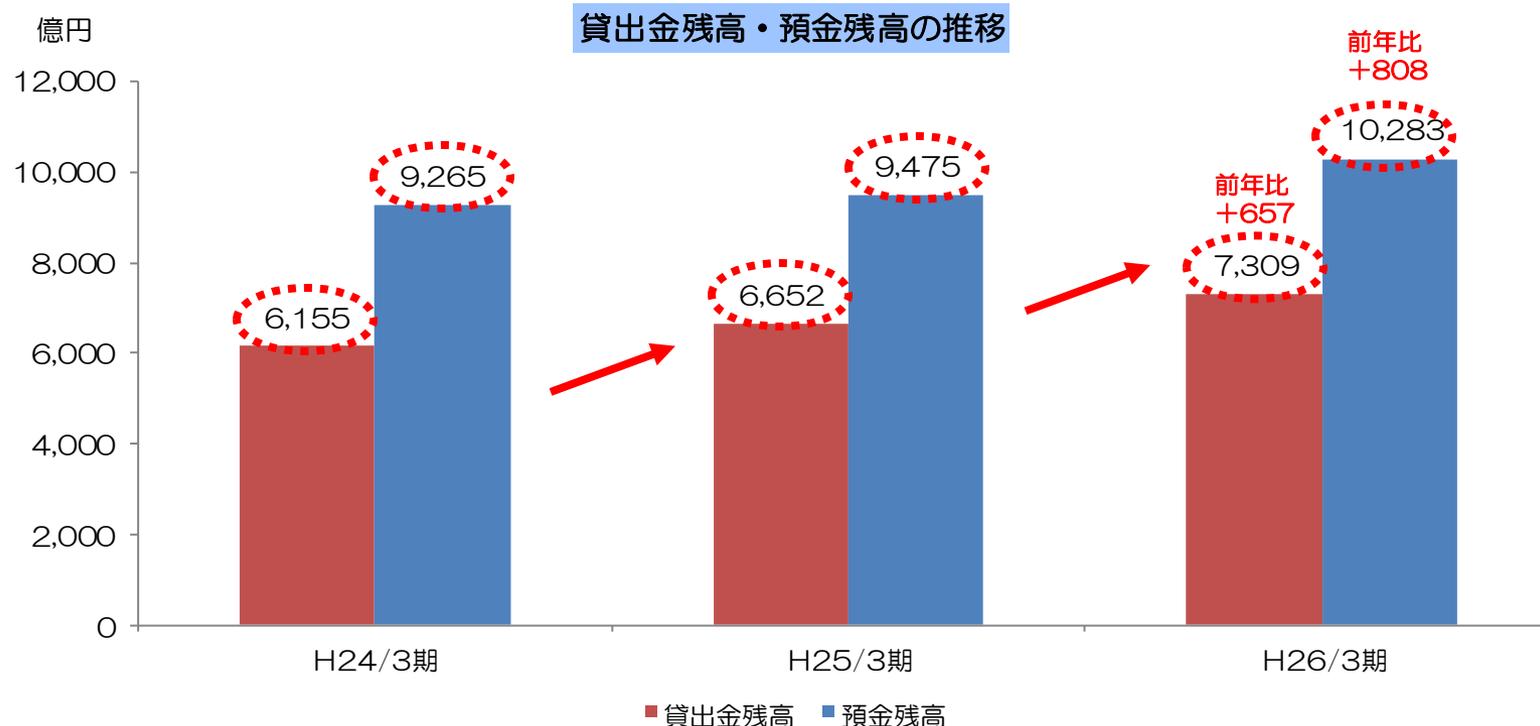
- 経常利益は、資金利益の増加 (+1億円)、有価証券関係損益の増加 (+30億円) により、前期比28億円増加し、57億円となりました。

## 当期純利益 前期比14億円増益 (3期連続)

- 当期純利益は、固定資産処分損等による特別損失処理 (△3億円) を行いましたが、前期比14億円増加し、32億円となりました。

## 預金・貸出金の状況

- ◆ 預金残高は、定期預金、貯蓄預金等のキャンペーン預金商品がご好評をいただき、前期比808億円増加し、1兆283億円となり、前中期経営計画における最大の目標でありました“**預金量1兆円**”を実現することができました。
- ◆ 貸出金残高は、地元中小企業向け貸出・個人向け貸出に積極的に取組んだ結果、前期比657億円増加し、7,309億円となりました。

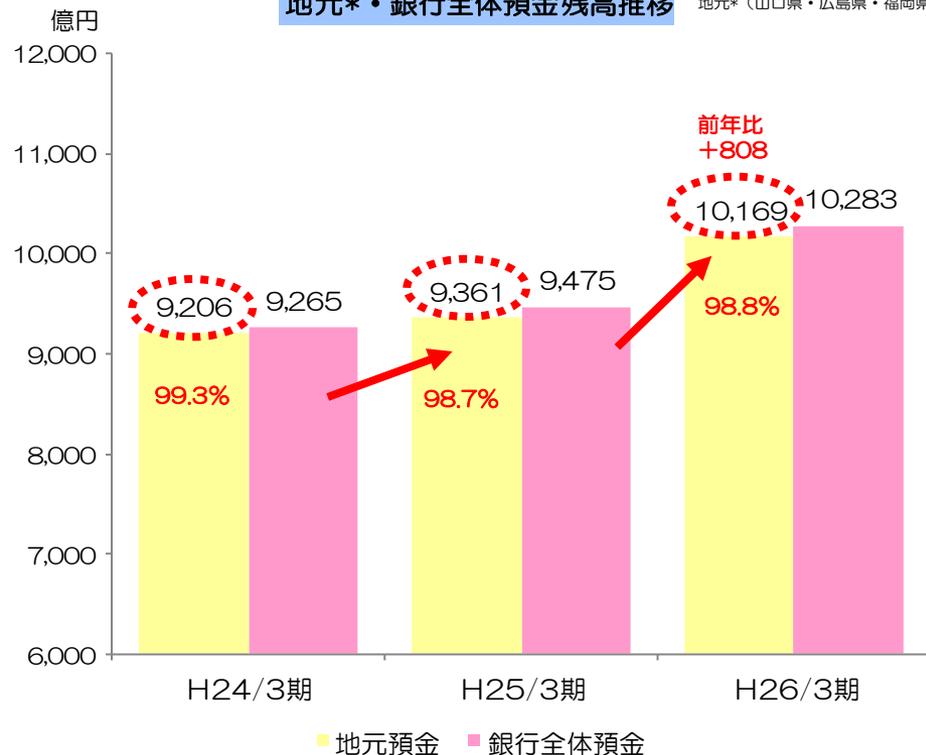


# 資金の地域内循環

- ◆ 当行では、地域の皆さまからお預りした大切な預金を、資金を必要とされる地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く「資金の地域内循環」を進めています。
- ◆ 地元（山口県・広島県・福岡県）の預金残高は、前期比808億円増加し1兆169億円、貸出金残高は、前期比526億円増加し6,062億円となりました。今後も地元を中心に積極的な地域内循環を進める方針です。

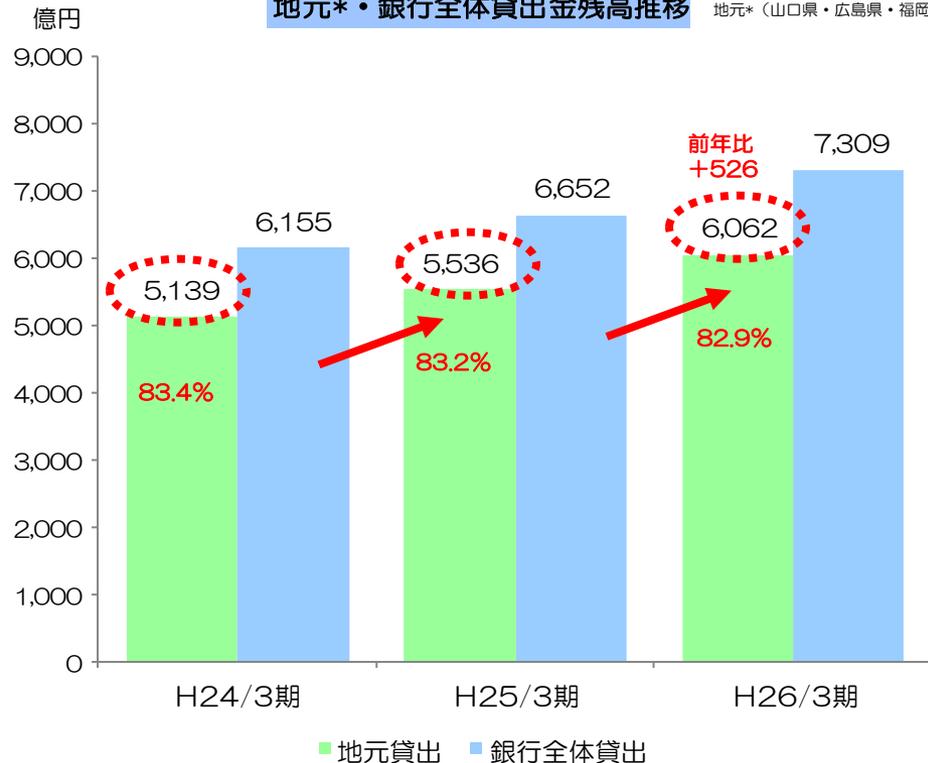
地元\*・銀行全体預金残高推移

地元\*（山口県・広島県・福岡県）



地元\*・銀行全体貸出金残高推移

地元\*（山口県・広島県・福岡県）

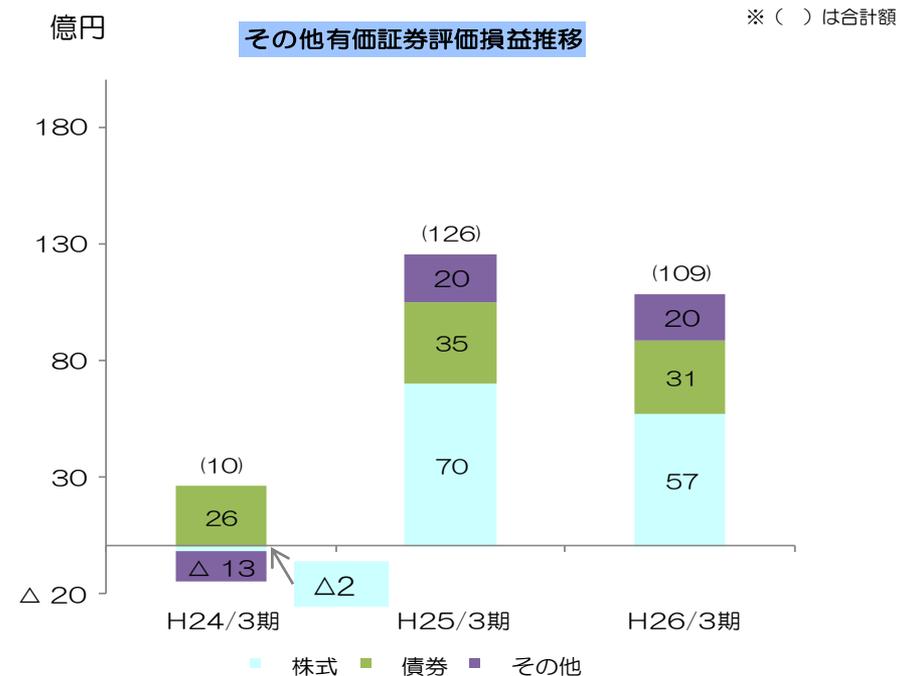


# 有価証券運用の状況

- ◆ 有価証券運用は、引き続き債券中心に安全性を重視した運用を行う一方、金利リスクをコントロールするため、国内債券を中心にデュレーションの短期化を進めた結果、修正デュレーション※は、約1.5年短縮し、約3.31年となりました。（参考：H26/3月末第二地銀平均：4.16年）

※ 修正デュレーション：デュレーション（債券に投資した資金の平均回収期間）を債券の利回りで除した期間を表し、金利が変動した場合に債券価格がどの程度変化するかを示すリスク管理上の指標です。

- ◆ その他有価証券評価益は、引き続き100億円を超えています。



≪その他有価証券（国内債券）修正デュレーション推移≫

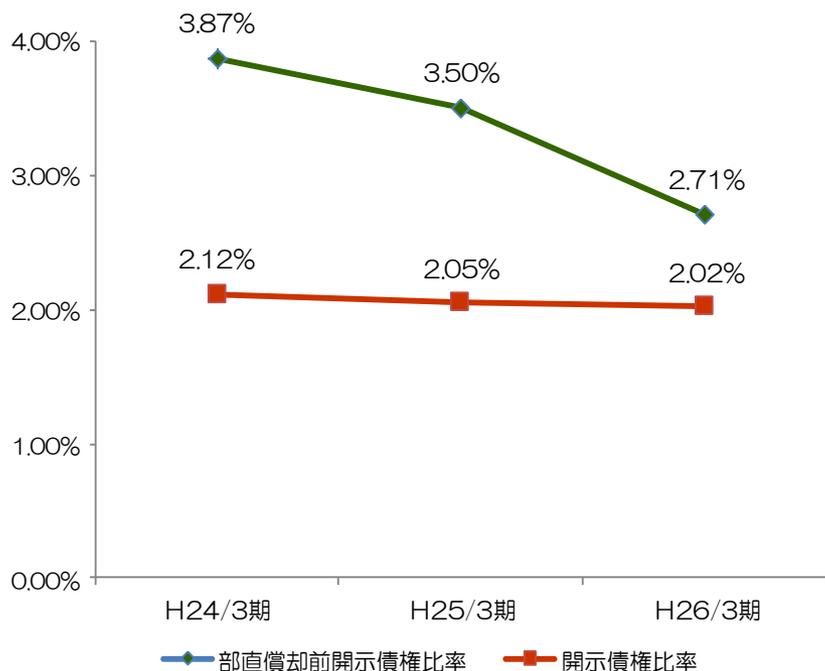
単位：年

H24/3期	H25/3期	H26/3期	H25/3期比
5.39	4.83	3.31	▲1.52

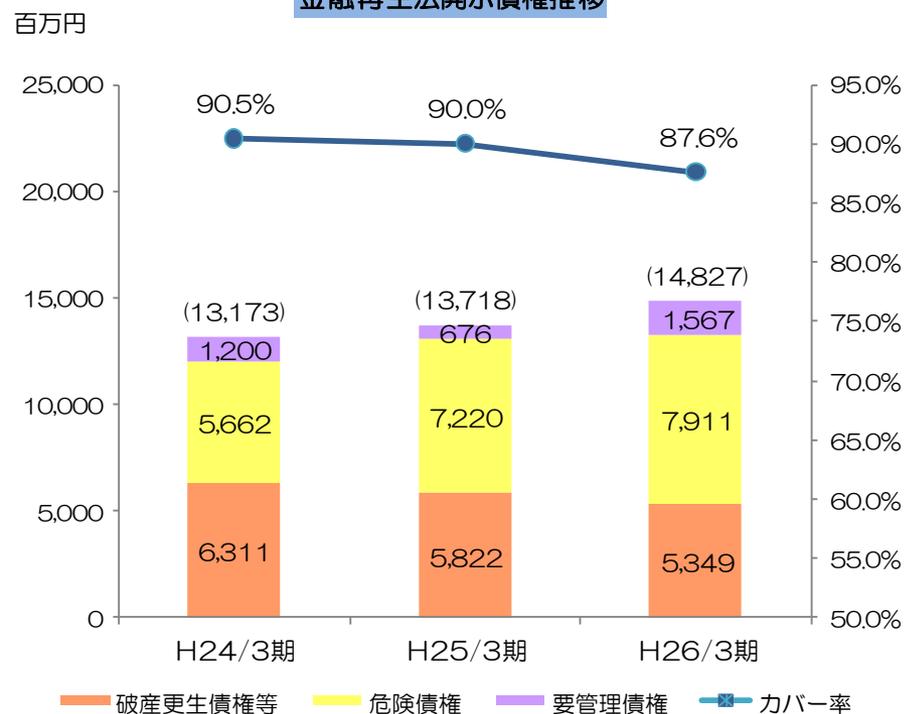
# 不良債権の状況

- ◆ 金融再生法基準での開示債権比率は、前期比0.03ポイント減少し、2.02%となりました。また、部分直接償却実施前においても前期比0.79ポイント減少し、2.71%となりました。
- ◆ 金融円滑化法終了後も同法の趣旨に則り、地元の中小零細・個人のお客さまに対して積極的な資金提供を行った結果、開示債権は、前期比11億9百万円増加し、148億27百万円となりましたが、厳格な資産査定と将来に備えた予防的な貸倒引当金等の実施により、開示債権に対するカバー率は高い水準を維持しています。

開示債権比率推移

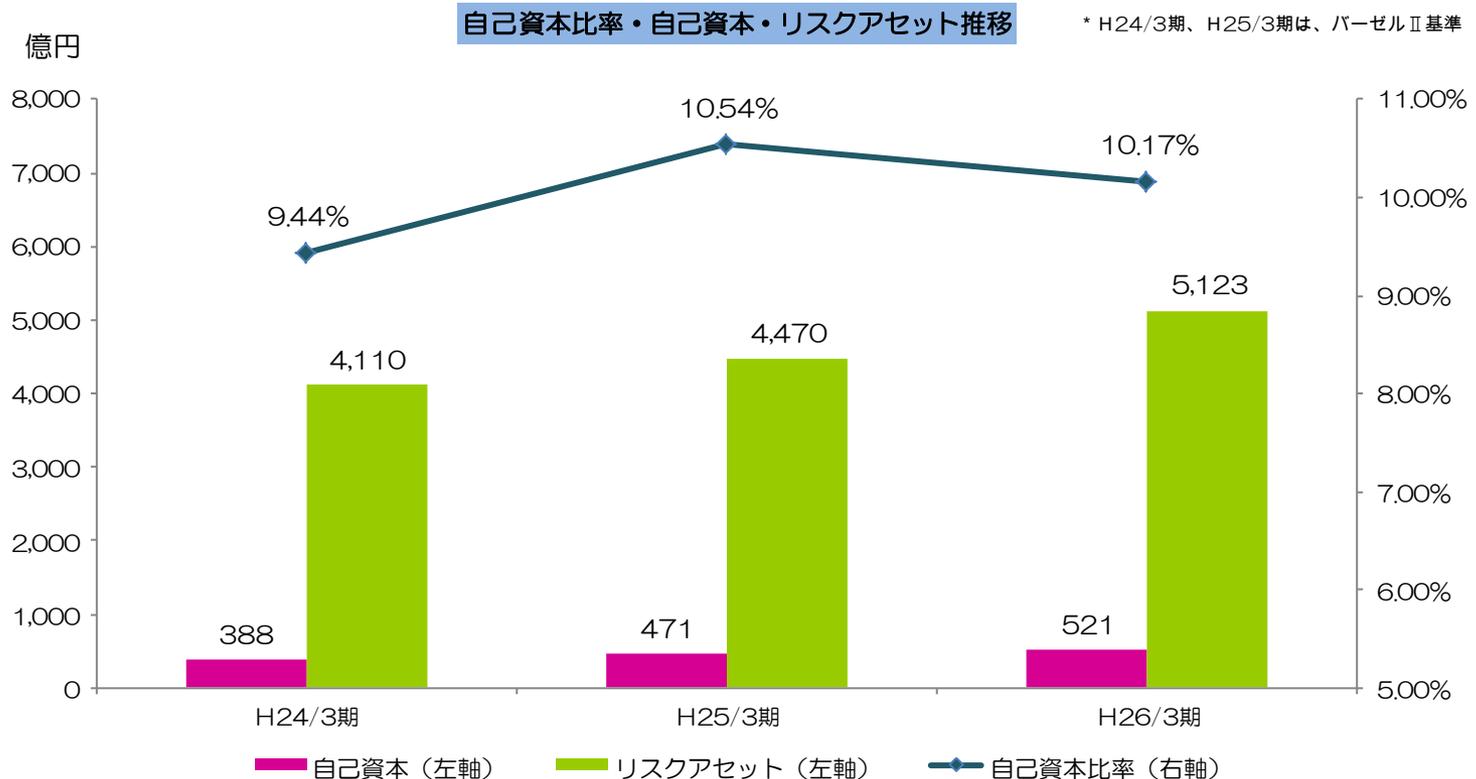


金融再生法開示債権推移



# 自己資本比率の状況

- ◆ 戦略的にリスクアセットの積み上げを優先させた結果、単体自己資本比率（国内基準）は、前期比0.37ポイント減少し、10.17%となりました。
- ◆ 普通株式や内部留保としてコアとなる自己資本額（バーゼルⅢ基準）は、前期比50億円増加し、521億円となりました。今後も引き続き、利益確保による積み上げを行う方針です。



## 地域経済活性化に向けた取組み

# 地域密着型金融に向けた取組み

## ①お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

- ◆ 地域社会、地域経済の活性化に向け、当行では、「**地域密着型金融推進委員会**」（委員長：頭取）を司令塔とした体制のもと、①お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮と②「地域ビジネス」「地域教育」「地域スポーツ・文化」3つの観点から産学公金連携による地域の面的再生に向けた取組みを強化しています。

### (i) 創業・新規事業開拓支援

- 創業・新規事業分野への積極的な取組みが評価され、中国財務局長より顕彰されました。
  - ― 顕彰内容：「創業塾の開催を契機とする各種創業支援の実施」
- 中小企業診断士等の外部機関の連携を含む創業セミナー開催
  - ― 「さいきょう創業塾2014」 36時間（全6回） 参加者16名
- 周南市、防府市、宇部市が認定を受けた“創業支援事業計画”に参画
  - ― 休日創業相談窓口「さいきょうちゃレサポの日」を開設

「さいきょう創業塾2014」



### (ii) 成長段階における支援

- 医療・介護分野への取組強化を目的に当行医療チームを1名増員
  - ― 平成25年度実績 ⇒ 取組件数33件、取組金額58億円
- 山口大学と連携し、「留学生と地元企業経営者との交流会」を開催
  - ― 海外ビジネス戦略における国際的な人脈作り等をサポート

「留学生と地元企業経営者との交流会」



### (iii) 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- 中小企業再生支援協議会、経営改善支援センター連携によるコンサルティング活動実施
  - ― 平成25年度サポート完了件数45件
- 事業再生ファンド「さいきょう地域支援ファンド」活用による資金調達サポート
  - ― 平成25年度実績 ⇒ 取組件数2件、取組金額1億円

# 地域密着型金融に向けた取組み

## ②産学公金連携による地域の面的再生

### 地域ビジネス～産学公金連携による新たな地域ビジネスの創造を目指す～

- ・ 「事業承継総合サポートプログラム」事業承継ワンストップ無料相談会を開催
  - － 『さいきょう「元気」中小企業支援プラットフォーム』を中心とした弁護士や税理士と連携し、様々な課題解決に向けて総合的にサポート
- ・ 広島経済大学と連携し、全国の大学生を対象に県内観光と地元企業訪問による山口県魅力発見ツアー「若旅 inやまぐち」を開催
- ・ 県内最大ビジネス交流会「やまぐち総合ビジネスメッセ2013」への参画
  - － 大手バイヤー誘致によるビジネスマッチング相談 ⇒ 31件

### 地域の金融教育～次世代教育に積極的に取り組む～

- ・ 「さいきょうJE養成塾2013」（次世代経営者育成プログラム）を開講
  - － 中小企業診断協会と連携、演習と議論を中心とした全11回講座
- ・ 徳山大学、徳山高専、宇部高専で、産学連携寄付講義を開講
  - － 金融知識を兼ね備えたバランスの良い人材育成に寄与
- ・ 「西京キッズ銀行」を開催
  - － 地元の小学生を対象とした職場体験学習

### 地域スポーツ・文化振興～スポーツ・文化を通じて地域の活性化に貢献する～

- ・ 第24回公益財団法人西京教育文化振興財団の助成金交付
  - － 平成25年度 36団体 450万円（累計 184先 6,560万円）
- ・ 『ACT SAIKYOチャレンジ2014』を開催
  - － 日本2部リーグ所属北國銀行バドミントンチームとのバンカーズマッチ
  - － 2日間で400名の方が来場（下松市、山口市）
- ・ 『第1回6時間リレーマラソン大会』に特別協賛
  - － 約2,600名、300チームが大会参加

「若旅inやまぐち」



「西京キッズ銀行」



「ACT SAIKYOチャレンジ」

